

普及活動情勢報告（平成28年4月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

今年も天敵をうまく使っていこう！・・・米ナス部会作前講習会・・・	
	3月29日、JA高知はた西土佐支所米ナス部会は作付前の講習会を行い、14名の生産者が参加しました。農業改良普及課は、今年度に行う土着天敵タバコスカシメとスルスキーカブリダニを併用した防除技術の実証試験について説明しました。また、天敵温存ハウスを整備し、バンカー植物のクレオメの定植準備も行いました。 部会員の意気込みは強く、部会長からは「米ナスの売上一億円を達成しよう！」という力強い言葉も発せられました。 農業改良普及課は今後も天敵の活用と生産者の所得増に向けて支援を続けていきます。

接ぎ木って実は簡単？・・・七立栗生産振興・・・	
	3月30日、黒潮町大方の生産者ほ場において枝栗「七立栗」の接ぎ木講習会を行いました。 農業改良普及課が講師となって、穂木の調整から何度も納得できるまで接ぎ木の練習を行いました。昨年は接ぎ木の活着率が悪く苦勞していた生産者も、「接ぎ木の結果が出るのが楽しみ」「刃物の使い方や穂木の選び方など細かいポイントが分かってよかった」と今年の作に向けて意欲が高まっています。 今後も農業改良普及課では高品質な枝栗生産のための栽培技術改善に取り組んでいきます。

子ども達に農業を知ってもらいたい！・・・宿毛4Hクラブ出張畑作り・・・	
	4月8日、平田小学校において、宿毛4Hクラブは、6年生16名を対象にジャガイモ定植について指導を行いました。3月には土作りの授業を行い、2回目の活動となった今回は、クラブ員の2人が講師となってクワの使い方や定植後の管理について説明しました。 子ども達からは、「クワを使うのは初めてで難しかったけど、作業は楽しかった」「大きなジャガイモができてほしい」等の声がありました。 農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、4Hクラブの活動を支援していきます。

進めよう集落営農！・・・(農)芳奈村設立総会・・・



4月12日宿毛市山奈町芳奈において、組合員30名（出席者15名）による集落営農法人（農）芳奈村の設立総会が開催されました。

設立総会では、定款、規約、規程の制定、役員の選任、事業計画など総会議案が原案どおり承認されました。今年度は、農地17.6haを集積して、水稻、飼料米、飼料稲を中心に栽培し、計画的に規模拡大を目指していきます。

農業改良普及課では、法人設立後の作物栽培から経営・運営管理、施設や機械導入など幅広い支援を行い、経営計画達成に向けて取り組みを進めていきます。

きれいなミョウガ出荷を目指す・・・目慣らし会の実施・・・



3月29日に宿毛市で、4月15日には黒潮町大方でミョウガ部会目慣らし会が行われました。

農業改良普及課は、出荷場における異物混入事故防止や衛生管理の徹底について指導しました。参加者からは「調整作業場所では着帽し、飲食せず、道具の数を確認しましょう」といった声が聞かれ、活発な情報交換となりました。



農業改良普及課は、今後省エネ対策や炭酸ガス施用について、勉強会などを行っていきます。

地球温暖化対策・・・梨の休眠打破促進剤散布試験の追跡調査・・・



農業改良普及課では4月初旬、四万十市竹島の国営団地において2月末に休眠打破促進剤を散布した梨園で、開花・発芽調査を行いました。昨秋から暖冬傾向で、不作が危惧されたため、シアナミド系薬剤の試験散布を行っています。新高梨は、未発芽率が減り、開花の進展や1芽当たりの花蕾数が優れました。農業改良普及課では、引き続き地球温暖化への対策を行っています。

キュウリの増収に向けて・・・キュウリ現地検討会の開催・・・



4月6日に黒潮町大方と土佐清水市で現地検討会が開催され、販売概況や4月以降の栽培管理の注意点について情報共有を行いました。農業改良普及課からは品種試験と炭酸ガス施用試験の途中経過について報告しました。栽培管理や新品种の生育、炭酸ガス施用の効果について生産者間での意見交換も活発に行われました。

今後も生育調査等の結果を活用して、さらなる増収につながる情報提供を行っていきます。